

開催日時

平成30年12月15日(土)

15:00~17:30

参加費無料 先着100名

# 健康寿命の延伸を 地域包括ケアの中で どのように達成して行くか

東京都医師会・東京都獣医師会による  
連携シンポジウム

## 「地域包括ケア」「ペット飼育と健康寿命の延伸」

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。

65歳以上の人口は、現在3,000万人を超えており(国民の約4人に1人)、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想され、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。そこで高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築が推進されています。また、平均寿命と健康寿命の差を短くする「健康寿命延伸策」の1つとして、ペットと暮らすことは飼い主の健康寿命にも良い影響を与えられていると言われています。(一社)ペットフード協会の調査によると「犬を飼っていて散歩をする人は、ペット飼育経験のない人よりも健康寿命が長い」という結果が出ています。ペット飼育で得られる身体的・心理的効果は、子供から高齢者まであらゆる年代、属性の人々に認められています。

本シンポジウムでは「地域包括ケア」「ペット飼育と健康寿命の延伸」をキーワードに、ゲスト3名による視点から本テーマについてお話しいたします。

## シンポジウム内容

- 15:00 開会
- 15:10 第1演者:西田 伸一 先生(東京都医師会理事)  
「地域包括ケアにおける医・獣医連携について」
- 15:45 第2演者:越村 義雄 先生(人とペットの幸せ創造協会会長・ペットフード協会名誉会長)  
「ペットと暮らす幸せが健康につながる」
- 16:20 特別講演:参議院議員 武見 敬三 先生  
「自立して生き生きと暮らせる健康長寿社会を目指して」
- 17:10 パネルディスカッション  
司会:東京都獣医師会 小林 元郎 副会長 座長:東京都医師会 鳥居 明 理事
- 17:30 閉会

### 参議院議員 武見 敬三 (たけみ けいぞう)

95年参議院議員に初当選。現在4期目。国連事務総長の下で国連制度改革委員会委員、同じく母子保健改善の為の委員会委員、世界保健機構(WHO)研究開発資金専門家委員会委員を務める。2007年~2009年までハーバード大学公衆衛生大学院研究員。現在、自民党国際保健戦略特別委員会委員長、日本国際交流センターシニア・フェロー、長崎大学及び慶應義塾大学医学部にて客員教授を務める。

### 西田 伸一 (にしだ しんいち)

東京都医師会理事。昭和60年帝京大学医学部卒業。同大学附属病院救命救急センター入局。長浜赤十字病院外科、オークランド病院、集中治療科等を含め、一般外科をベースに16年間救急医療に従事。平成12年より西田医院勤務。“地域密着型小規模多機能診療所”を目指して地域医療や地域福祉活動に携わっている。  
日本救急医学会・日本外科学会認定登録医・日本在宅医学会認定専門医

### 越村 義雄 (こしむら よしお)

ペットフードメーカー日本ヒルズ・コルゲート(株)の代表取締役社長を経て、2009年に(一社)ペットフード協会、ペットフード公正取引協議会の両会長に就任。2015年に(一社)人とペットの幸せ創造協会、国際ビジネスコンサルティング(株)を立ち上げ、現在会長、代表取締役社長を務める。そのほかにも(一社)ペットフード協会名誉会長、(一財)日本ヘルスケア協会理事および同協会の「ペットとの共生によるヘルスケア普及推進部会」部会長や帝京科学大学非常勤講師、(一社)日本ペット栄養学会監事を務めるなど、ペット業界の第一線で「人とペットの理想的な共生社会」の実現を目指し、新聞等への執筆を含め精力的な活動を展開している。